

平成25年行政事業レビューシート (外務省)

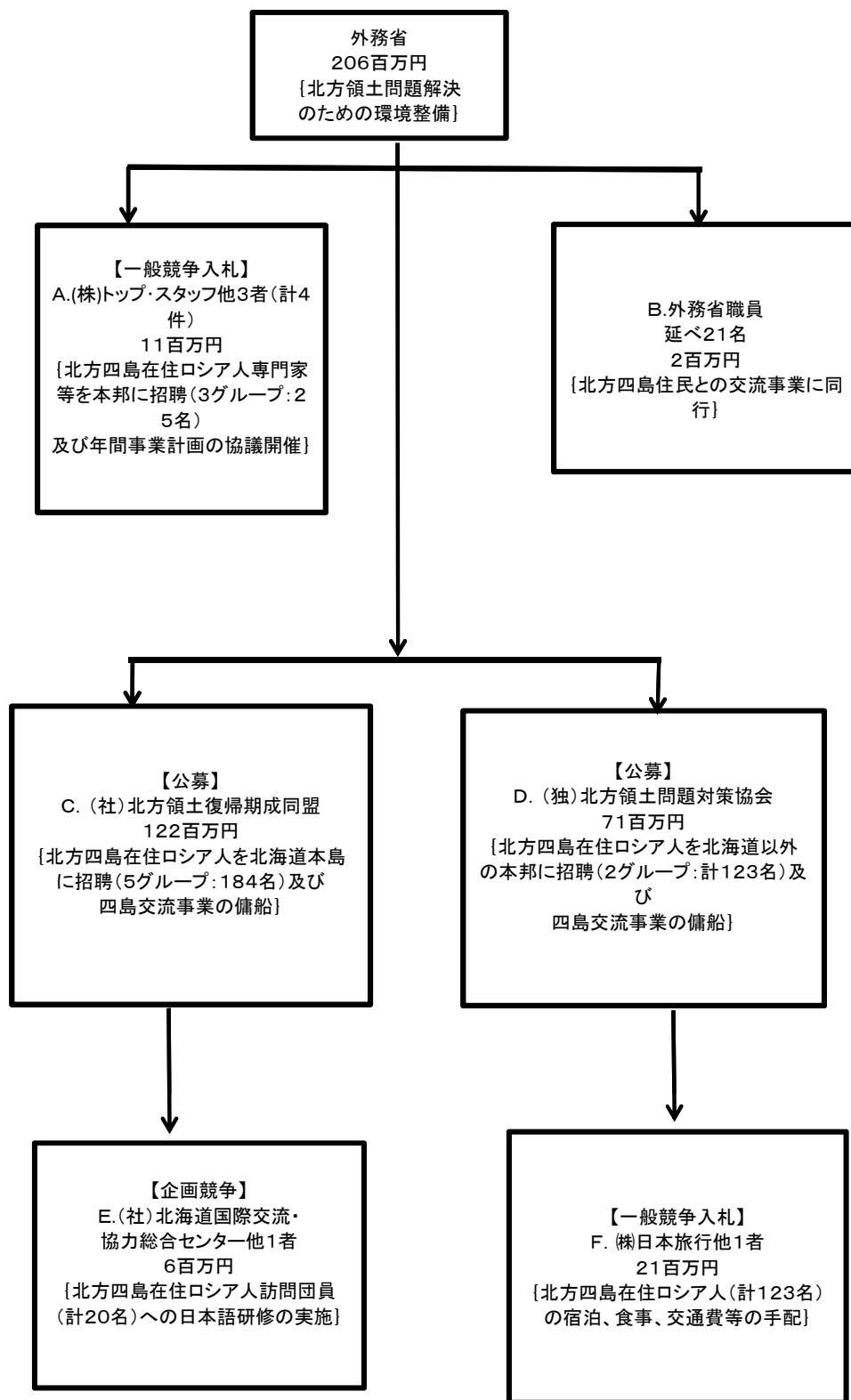
事業名	北方四島住民との交流		担当部局庁	欧州局		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	別紙参照		担当課室	ロシア課		課長 宇山 秀樹			
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-4-3 ロシアとの平和条約締結交渉の推進及び幅広い分野における日露関係の進展					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	別紙参照		関係する計画、通知等	別紙参照					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	四島在住ロシア人を本邦に招聘し交流活動を行うことにより、日本国民と四島在住ロシア人との間の相互理解の増進を図り、もって北方領土問題の解決のための環境整備を図る。 また、医療分野での各種支援を行うことにより、四島住民の我が国に対する信頼感を醸成し、もって平和条約締結交渉のための環境整備を図る。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	四島在住ロシア人を対象として、北海道本島及び本邦各地に招聘する。各地を訪問中、日本国民との住民交流会、日本文化体験行事、日本語講習等を行うことにより、我が国の社会や文化に対する理解を深めている。また、近年は一般の四島在住ロシア人を対象とした交流のほか、青少年、ファミリー、専門家の交流など様々な分野での交流が進められており、交流の拡大・深化を図っている。 また、四島在住ロシア人を対象に、①患者受入(四島から受入要請のあった四島在住ロシア人患者のうち、受入可能な患者を北海道の医療機関で受け入れ、必要な検査、治療及び投薬等を行っている。)、②医師・看護師等研修(四島在住の医師や看護師等(医療技術者含む)に対し、北海道本島における医療機関において、総合的な研修を実施している。)、③医療支援促進事業(我が国の医療専門家(医師、医療コンサルタント等)を北方四島に派遣し、現地医療事情を調査させ四島住民の医療ニーズをより正確に把握するとともに、可能な範囲で現地での医療指導を実施している。また、四島からの患者、医師・看護師等を受け入れる北海道における医療機関の受入れ体制を調査させ、より効率的な支援事業の実施を図っている。更には、将来の遠隔医療等を視野に入れた緊急医療支援のスキーム構築に関する提言を含む報告書を作成させる。)の3つの事業を行っている。 本土からの四島への訪問事業(四島交流訪問事業及び自由訪問)では、スムーズな実施のため、島側との折衝にあたる職員が同行している。								
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	255	233	294	294			
		補正予算	—	—	△16				
		繰越し等	—	—	—				
		計	255	233	278	294			
		執行額	230	215	269				
	執行率(%)	90%	92%	97%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (25年度)
	成果目標:日本国民と四島在住ロシア人との間の相互理解の増進を図り、また、四島在住ロシア人の医療ニーズに応え、もって北方領土問題の解決のための環境整備を推進する。			成果実績	人	346	334	344	未定
	成果実績:交流事業及び患者受入の着実な実施(これら事業の受入人数)				達成度	%	99	97	102
	成果目標:患者受入れ、医師・看護師等研修の着実な実施を図るため、四島の医療ニーズの把握に努める。			成果実績	回	1	1	1	
	成果実績:事業の安定的な実施(北方四島医療支援促進事業の実施回数)				達成度	%	100	100	100
	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度
受入事業の実施回数(四島交流、患者受入)			活動実績 (当初見込み)	回	16 (16)	16 (16)	17 (16)	— (未定)	
単位当たり コスト	四島交流(約0.62百万円/一人あたり)			算出根拠	単位当たりコスト=受入人数(330人)/執行額(204,176,787円)				
	患者受入(約2.8百万円/一人あたり)			算出根拠	単位当たりコスト=受入人数(14人)/執行額(38,808,236円)				
	医師・看護師等研修(約1.2百万円/一人あたり)			算出根拠	単位当たりコスト=受入人数(5人)/執行額(5,925,195円)				
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	北方四島住民との交流事業		214						
	北方四島住民支援(患者の受入等)		51						
	北方四島医療支援促進事業		22						
	北方四島医師・看護師等研修事業		6						
	北方四島自由訪問対策		0.8						
	計		294						

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	四島交流事業は、北方領土返還に向けた環境整備に不可欠であり、その優先度は高い。また、領土交渉の主体は国であることから、地方自治体や民間に委ねるのは不適當。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	北方領土問題対策協会及び北方領土復帰期成同盟(北海道推進委員会)は、長年四島交流の実施団体としての実績があり、支出先としては妥当。また、根室市及び中標津町は、北方領土隣接地域であり、当該地方自治体及びその地域に所在する公立病院は支出先として妥当。 いずれもその用途は、事業目的に限定されており、当省担当官が常にコスト削減を監督している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	毎年、昨年度の反省及びその期の目標設定を行い、より公立的な事業の実施に向け取り組んでいる。各実施団体は当省とも相談しつつ、事業改善に取り組んでおり、着実に良いものになっている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。			日本人の北方四島への訪問事業については、内閣府が予算措置を講じている。	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
		北方四島への訪問事業	内閣府		
点検 結果	効率的な予算執行の観点から、証拠書類の確認等や当省担当部局職員の同行を通じて把握に務めている。また、事業内容については、平成22年度から新たに行っている住民交流会の導入を始め、事業の本来の目的である北方四島住民との相互理解の増進に資するよう、絶えず見直し・改善に努めている。				
	外部有識者の所見				
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
平成4年度の事業開始から平成22年度までの間に、四島在住ロシア人計7,336名を本邦に招聘し、交流活動を通じて相互理解を深め、北方領土問題の解決に向けた環境整備を図ってきている。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年	438,443,472,487	平成23年	426,429,433,453,474	平成24年 237

(別紙)

個別事業名		北方四島住民との交流事業		担当部局庁		欧州局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成4年度開始		担当課室		ロシア課		課長 宇山 秀樹	
会計区分		一般会計		政策・施策名		I-4-3 ロシアとの平和条約締結交渉の推進及び幅広い分野における日露関係の進展			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第四条第二号及び北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律第四条の四		関係する計画、通知等		日露行動計画(平成15年1月)、四島交流等の実施及び後継船舶の確保に関する関係閣僚(官房長官、沖縄及び北方対策大臣、外務大臣及び財務大臣)申合せ(平成19年12月)			
実施方法		■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		予算 の 状 況	当初予算	171	159	224	214		
			補正予算	-	-	△15			
			繰越し等	-	-	-			
		計		171	159	209	214		
		執行額		151	148	206			
執行率 (%)		88%	93%	99%					
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	北方四島住民の招聘費		212						
	北方四島交流訪問同行費		2						
	北方四島代表者協議同行費		0.2						
計		214							

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)



個別事業名： 北方四島住民との交流事業

費目・使途
(「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出さ
れている者につ
いて記載する。
費目と使途の
双方で実情が
分かるように
記載)

A.(株)トップ・スタッフ			E.北海道国際交流・協力総合センター		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	旅費、宿泊、食事費等	3	日本語研修	講師、通訳、研修実施の付帯経費、記録	4
計		3	計		4
B.外務省職員			F.(株)日本旅行		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
			その他	(株)日本旅行(宿泊、食事、交通費等)	13
計		0	計		13
C.北方領土復帰期成同盟			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	傭船代	66			
その他	集会開催費、滞在費等(宿泊、食事、交通費等)	50			
外部委託	日本語研修	6			
計		122	計		0
D.北方領土問題対策協会			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
その他	傭船代	34			
外部委託	滞在費等(宿泊、食事、交通費等)	21			
その他	集会開催費等	16			
計		71	計		0

個別事業名：北方四島住民との交流事業

支出先上位10者リスト

A. 専門家等招聘

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)トップスタッフ	北方四島住民招へい事業委嘱(歴史・生態系専門家)	3	4	88
2	(株)ティ・アイ・コンソーシア	四島交流代表者間協議開催業務委嘱	3	1	80
3	(株)エモック・エンタープライズ	北方四島住民招へい事業委嘱(四島住民代表)	3	2	93
4	(株)国際ビジネスサポート	北方四島住民招へい事業委嘱(地震火山専門家)	2	2	78
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 北方四島住民との交流事業に同行

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	北方四島への訪問に同行	0.2		
2	職員A	北方四島への訪問に同行	0.1		
3	職員A	北方四島への訪問に同行	0.1		
4	職員B	北方四島への訪問に同行	0.1		
5	職員C	北方四島への訪問に同行	0.1		
6	職員D	北方四島への訪問に同行	0.1		
7	職員E	北方四島への訪問に同行	0.1		
8	職員F	北方四島への訪問に同行	0.1		
9	職員A	北方四島への訪問に同行	0.09		
10	職員G	北方四島への訪問に同行	0.09		

C. 北海道本島に招聘

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)北方領土復帰期成同盟	北方四島住民招へい事業(傭船)	66	公募	
2	(社)北方領土復帰期成同盟	北方四島住民招へい事業(根室管内・ファミリー)	15	公募	
3	(社)北方領土復帰期成同盟	北方四島住民招へい事業(苫小牧・一般)	13	公募	
4	(社)北方領土復帰期成同盟	北方四島住民招へい事業(日本語習得Ⅰ)	11	公募	
5	(社)北方領土復帰期成同盟	北方四島住民招へい事業(根室管内・青少年)	9	公募	
6	(社)北方領土復帰期成同盟	北方四島住民招へい事業(日本語習得Ⅱ)	9	公募	
7					
8					
9					
10					

D. 北海道以外に招聘

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)北方領土問題対策協会	北方四島住民招へい事業(傭船)	34	公募	
2	(独)北方領土問題対策協会	北方四島住民招へい事業(大阪府・一般)	23	公募	
3	(独)北方領土問題対策協会	北方四島住民招へい事業(秋田県・青少年)	14	公募	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E. 北海道本島に招へい((社)北海道国際交流・協力総合センター他1者)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公社)北海道国際交流・協力総合センター	北方四島住民招へい事業委嘱(日本語習得Ⅰ:日本語研修の実施)	4	1	—
2	(株)インターナショナルアカデミー	北方四島住民招へい事業委嘱(日本語習得Ⅱ:日本語研修の実施)	2	—	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F. 北海道以外に招聘((株)日本旅行他1社)

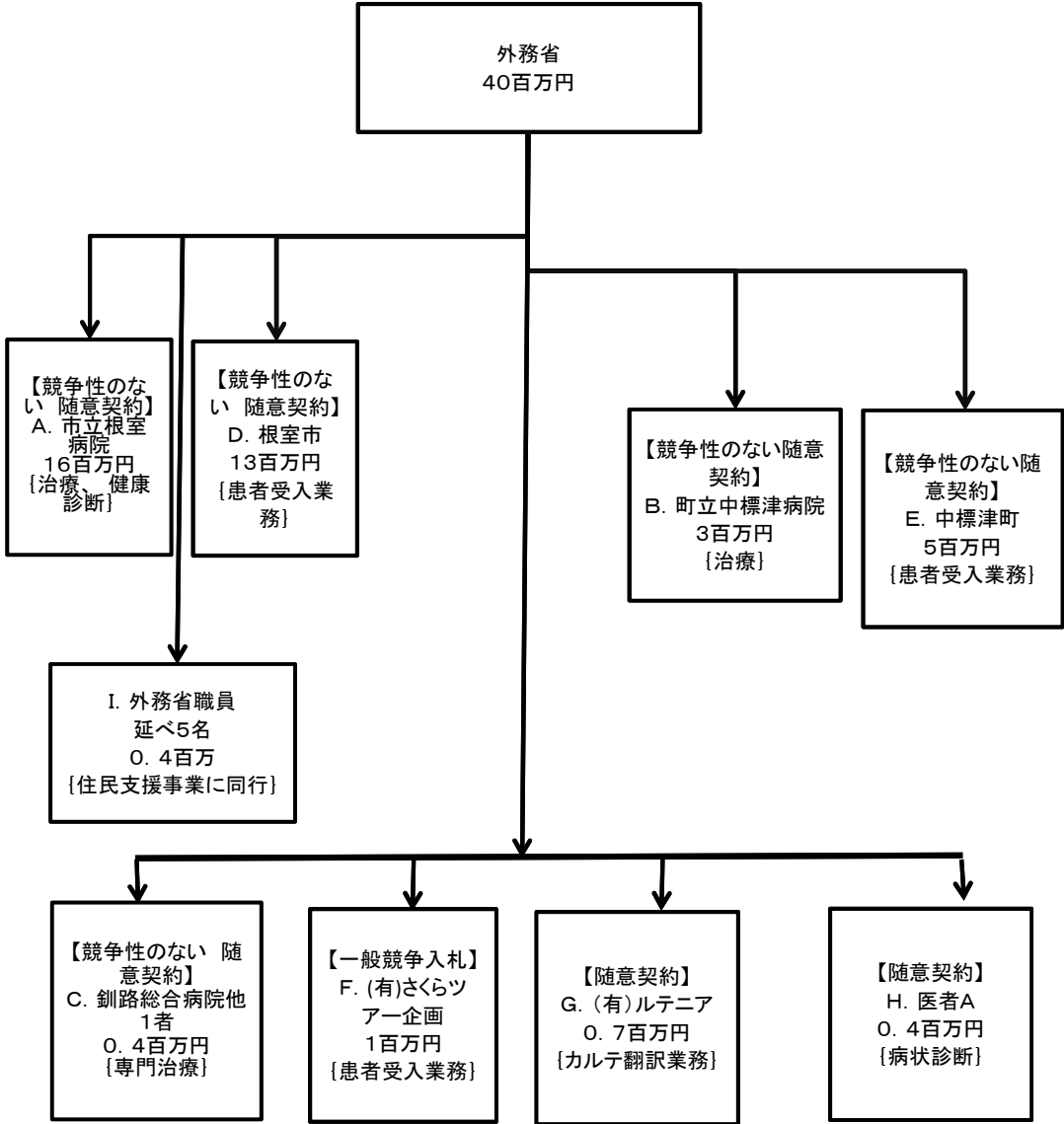
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本旅行	北方四島住民招へい事業委嘱(大阪府・一般)	13	2	—
2	(株)JTB法人東京	北方四島住民招へい事業委嘱(秋田県・青少年)	4	3	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(別紙)

個別事業名		北方四島住民支援(患者の受入等)		担当部局庁	欧州局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度開始		担当課室	ロシア課	課長 宇山 秀樹		
会計区分		一般会計		政策・施策名	I-4-3 ロシアとの平和条約締結交渉の推進及び幅広い分野における日露関係の進展			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第四条第四項		関係する計画、通知等	-			
実施方法		■直接実施 ■委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		予算の状況	当初予算	49	46	44	51	
			補正予算	-	-	-		
			繰越し等	-	-	-		
			計	49	46	44	51	
		執行額		49	41	40		
		執行率 (%)		101%	91%	92%		
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	治療諸経費	24						
	受入諸経費	22						
	健康診断	2						
	人間ドック	2						
	職員旅費	0.4						
	計	51						

個別事業名： 北方四島住民支援(患者の受入等)
※平成24年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



個別事業名： 北方四島住民支援(患者の受入等)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につ いて記載する。費目と使途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.市立根室病院			E.中標津町		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	治療、入院費、健康診断	16	その他	旅費、付添人宿泊費、通訳謝金、諸経費	5
	計		16	計		5
	B.町立中標津病院			F.さくらツアー企画		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	治療、入院費	3	その他	旅費、通訳、諸経費	1
	計		3	計		1
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.根室市			H.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	その他	旅費、付添人宿泊費、通訳謝金、 諸経費	13			
	計		13	計		0

個別事業名：北方四島住民支援(患者の受入等)

支出先上位10者リスト

A. 根室病院:治療,健康診断

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	市立根室病院	患者治療(第4回)	7	随意契約	
2	市立根室病院	患者治療(第1回)	7	随意契約	
3	市立根室病院	患者治療(第2回)	1	随意契約	
4	市立根室病院	患者治療(第3回)	0.7	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 中標津病院:治療

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	町立中標津病院	患者治療(第2回)	1	随意契約	
2	町立中標津病院	患者治療(第3回)	1	随意契約	
3	町立中標津病院	患者治療(第1回)	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C. 専門治療

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	市立釧路総合病院	患者治療(第4回)	0.4	随意契約	
2	札幌医科大学付属病院	患者治療(第5回)	0.06	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D. 根室市:患者受入業務

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	根室市	患者受入支援(第1回)	5	随意契約	
2	根室市	患者受入支援(第4回)	4	随意契約	
3	根室市	患者受入支援(第2回)	2	随意契約	
4	根室市	患者受入支援(第3回)	1	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E. 中標津町:患者受入業務

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	中標津町	患者受入支援(第2回)	2	随意契約	
2	中標津町	患者受入支援(第1回)	2	随意契約	
3	中標津町	患者受入支援(第3回)	1	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F. 患者受入業務

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)さくらツアー企画	患者受入支援(第4回, 5回 札幌)	1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

G. カルテ翻訳業務

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)ルテニア	カルテ翻訳	0.7	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

H. 病状診断

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	医者A	病状診断	0.4	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

I. 北方四島住民支援事業に同行

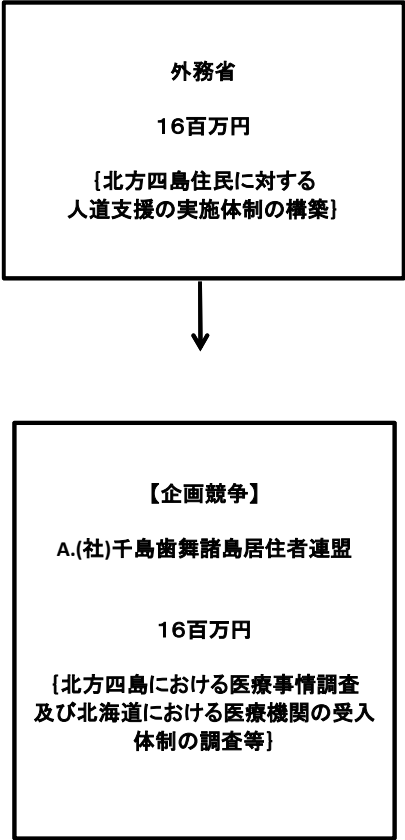
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員A	北方四島住民支援事業に同行	0.1		
2	職員A	北方四島住民支援事業に同行	0.1		
3	職員A	北方四島住民支援事業に同行	0.08		
4	職員A	北方四島住民支援事業に同行	0.06		
5	職員A	北方四島住民支援事業に同行	0.04		
6					
7					
8					
9					
10					

(別紙)

個別事業名	北方四島医療支援促進事業		担当部局庁	欧州局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成22年度開始		担当課室	ロシア課		課長 宇山 秀樹	
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-4-3 ロシアとの平和条約締結交渉の推進及び幅広い分野における日露関係の進展			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第四項		関係する計画、通知等	—			
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
	予算の状況	当初予算	28	21	18	22	
		補正予算	—	—	—		
		繰越し等	—	—	—		
		計	28	21	18	22	
	執行額		23	19	16		
	執行率 (%)		83%	92%	91%		
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由		
	人件費		18				
	調査出張旅費		4				
	計		22				

個別事業名： 北方四島医療支援促進事業
※平成24年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位：百万円)



個別事業名： 北方四島医療支援促進事業

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につ いて記載する。費目と使途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.(社)千島歯舞諸島居住者連盟			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	医師, コンサルタント, 通訳	11			
	調査費	旅費, 車借料, 会議費等	3			
	その他	報告書, 管理費, 税金等	2			
	計		16	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：北方四島医療支援促進事業
支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)千島歯舞諸島居住者連盟	医療事情調査等委嘱	16	3	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

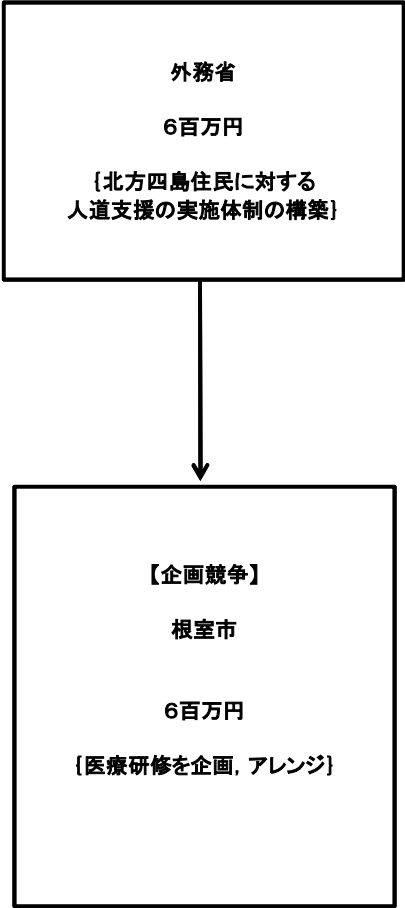
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(別紙)

個別事業名	北方四島医師・看護師等研修事業		担当部局庁	欧州局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始		担当課室	ロシア課		課長 宇山 秀樹	
会計区分	一般会計		施策名	I-4-3 ロシアとの平和条約締結交渉の推進及び幅広い分野における日露関係の進展			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第四項		関係する計画、通知等	-			
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
	予算の状況	当初予算	6	6	6	6	
		補正予算	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-		
	計		6	6	6	6	
	執行額		6	6	6		
執行率(%)		95%	96%	97%			
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	研修経費	3					
	教材作成費等	2					
	その他	1					
	計	6					

個別事業名： 北方四島医師・看護師等研修事業
※平成24年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位:
百万円)



個別事業名： 北方四島医師・看護師等研修事業

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロッ クごとに最大の 金額が支出さ れている者に ついて記載す る。費目と使途 の双方で実情 が分かるように 記載)	A.根室市役所			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	医療研修費	精密検査, 一般研修, 会場費, 保	3			
	教材作成 費等	通訳, 食費, 資料翻訳等	2			
	その他	管理費等	1			
	計		6	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：北方四島医師・看護師等研修事業
支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	根室市役所	医師・看護師研修業務委嘱	6	1	企画競争
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

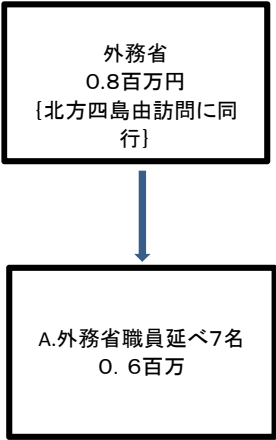
	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

(別紙)

個別事業名		北方四島自由訪問対策		担当部局庁	欧州局	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成11年度開始		担当課室	ロシア課	課長 宇山 秀樹		
会計区分		一般会計		政策・施策名	I-4-3 ロシアとの平和条約締結交渉の推進及び幅広い分野における日露関係の進展			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第四条第二号及び北方領土問題等の解決の促進のための特別措置に関する法律第四条の四		関係する計画、通知等	日本国とロシア連邦の間の創造的パートナーシップ構築に関するモスクワ宣言、平成11年9月2日付け在本邦ロシア連邦大使館口上書及び同日付け日本外務省口上書等			
実施方法		☒ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		予算の状況	当初予算	0.6	0.6	0.8	0.8	
			補正予算	-	-	-		
			繰越し等	-	-	-		
			計	0.6	0.6	0.8	0.8	
		執行額		0.5	0.6	0.6		
執行率(%)		86%	100%	75%				
平成25・26年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	職員同行旅費		0.8					
	計		0.8					

個別事業名： 北方四島自由訪問対策
※平成24年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単位
: 百万円)



個別事業名： 北方四島自由訪問対策

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者につ いて記載する。費目と使途の 双方で実情が分かるように 記載)	A.			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

個別事業名：北方四島自由訪問対策
支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員 A	第5回北方四島自由訪問に同行旅費	0.1		
2	職員 B	第4回北方四島自由訪問に同行旅費	0.1		
3	職員 C	第7回北方四島自由訪問に同行旅費	0.1		
4	職員 D	第3回北方四島自由訪問に同行旅費	0.09		
5	職員 E	第6回北方四島自由訪問に同行旅費	0.07		
6	職員 F	第1回北方四島自由訪問に同行旅費	0.05		
7	職員 G	第2回北方四島自由訪問に同行旅費	0.05		
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					